

## 2 月 補 正 事 業 計 画 書

令和 4 年度 [ 港 湾 局 ]

事 業 名
13 款 1 項 4 目 大さん橋ふ頭ビル管理事業

(単位：千円)

区 分	金 額	財 源 内 訳				一 般 財 源 等	
		国	県	負担金	その他	市債	一般財源
現計予算額*	21,704						21,704
執行見込額	129,704					108,000	21,704
今回補正額	108,000	0	0	0	0	108,000	0

### 【事業概要】

旅客施設としての市民利用及び港湾関係機関のオフィスビルとして利用されている「大さん橋ふ頭ビル」の良好な維持管理を行います。

### 【補正概要】

大さん橋ふ頭ビルの空調設備は、経年劣化と塩害による故障が頻発しています。また、機器の製造が古いため、今後故障が発生した場合に一部入手困難な部品があり、修繕等対応が不可能となる危険が予想されます。そこで、適正な設備保全の観点から当該空調設備の更新を実施し、大さん橋ふ頭ビルの利用者等に良好な空調環境を安定的に提供することとします。  
更新工事は冷暖房を使用しない秋に実施することとし、今年度中に事業費を確保したうえで準備作業等を開始します。

### 【事業費の内訳】

	現計予算額 A	補正額 B	補正後 現計予算額 A+B	説 明
①消耗品費	43		43	
②委託費	21,661		21,661	清掃、建物管理、機械警備、各種点検等
③空調設備更新工事		108,000	108,000	
合 計	21,704	108,000	129,704	

### 【事業スケジュール】

<工程表>

4 年 度	5 年 度				
2～3月	4～5月	6月	7月～8月	9月～11月	12月
設計、関係者 調整	契約手続	現場調査、機器選定	機器製作、準備工	現場工事、 試験運転・調整	検査・引き渡し (履行完了)

\*現計予算額とは、当初予算額と補正予算額の合計のことを指します。

## 2 月 補 正 事 業 計 画 書

令和 4 年度 [ 港 湾 局 ]

事 業 名
13 款 2 項 1 目
カーボンニュートラルポート形成事業

(単位：千円)

区 分	金 額	財 源 内 訳				一 般 財 源 等	
		国	県	負担金	その他	市債	一般財源
現計予算額*	0						0
執行見込額	1,145,000	385,000				760,000	0
今回補正額	1,145,000	385,000	0	0	0	760,000	0

**【事業概要】**

**【陸上電力供給設備整備（本牧ふ頭：A4岸壁）】**

横浜港における停泊中船舶からの排出ガスの削減のため、停泊中の船舶に対して陸上から電力を供給する設備（陸電）を整備します。

**【臨港パーク先端緑地整備】**

臨港パークは、港を一望できる素晴らしい景観が広がり、多くの来街者で賑わう地区のシンボルとなっており、防災空間としての機能も担っています。みなとみらい21地区は、企業の立地が進み、就業者数・事業所数も共に過去最高を記録し、開発は佳境となっています。そのため、時機を逸することなく開発の総仕上げとして、臨港パークの完成に向け取り組んでいきます。

緑地先端部は、緩やかな曲線に沿った親水護岸を整備し、先端部にはシンボリックな展望ゾーンを設けます。また、CO2を吸収する「ブルーカーボン」としての機能も担う藻場・浅場（人工海浜・岩場）等の造成も行います。

**【補正概要】**

令和4年度当初認証額に合わせて補正要求します。

**【陸上電力供給設備整備（本牧ふ頭：A4岸壁）】**

補助対象事業費：20,000千円(国費1/2：10,000千円)（配管設備工）

**【臨港パーク先端緑地整備】**

補助対象事業費：1,125,000千円(国費1/3：375,000千円)（護岸築造工）

**【事業費の内訳】**

	現計予算額 A	補正額 B	補正後 現計予算額 A+B	説 明
陸上電力供給設備整備(本牧ふ頭：A4岸壁)		20,000	20,000	配管設備工
臨港パーク先端緑地整備		1,125,000	1,125,000	護岸築造工
合 計	0	1,145,000	1,145,000	

**【事業スケジュール】**

	R 4 年度	R 5 年度												
	～3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
陸上電力供給設備整備 (本牧ふ頭：A4岸壁)	設計							整備						
臨港パーク先端緑地整備	設計							整備						

\*現計予算額とは、当初予算額と補正予算額の合計のことを指します。

## 2 月 補 正 事 業 計 画 書

令和 4 年度 [ 港 湾 局 ]

事 業 名
13 款 2 項 2 目 港湾関連用地購入費 (埋立事業会計所管用地)

(単位：千円)

区 分	金 額	財 源 内 訳				一 般 財 源 等	
		国	県	負担金	その他	市債	一般財源
現計予算額*	750,000						750,000
執行見込額	18,250,000						18,250,000
今回補正額	17,500,000	0	0	0	0	0	17,500,000

### 【事業概要】

みなとみらい21地区・南本牧地区・新山下町貯木場地区の完成土地を埋立事業会計から一般会計へ所属替を行いました。その購入費については、各会計年度毎に予算の範囲内で分割納入することとされています。

### 【補正概要】

過年度に埋立事業会計から一般会計へ所属替を行った完成土地の用地購入費について執行します。

### 【事業費の内訳】

	現計予算額 A	補正額 B	補正後 現計予算額 A+B	説 明
公有財産購入費	750,000	17,500,000	18,250,000	
合 計	<b>750,000</b>	17,500,000	18,250,000	

### 【事業スケジュール】

(単位：千円)

所在地	面積(m <sup>2</sup> )	総額	2年度以前	3年度	4年度	5年度以降	
MM21地区 14街区	4,436.42	1,889,471	1,405,419	0	484,052	0	4年度終了
MM21地区 23街区	15,231.73	9,266,985	955,054	1,380,781	6,931,150	0	4年度終了
南本牧地区 E街区	31,889.76	3,035,089	0	0	3,035,089	0	4年度終了
南本牧地区 2ブロック	102,907.03	6,292,357	0	0	1,293,272	4,999,085	
新山下町貯木場地区	39,929.79	6,506,437	0	0	6,506,437	0	4年度終了

\*現計予算額とは、当初予算額と補正予算額の合計のことを指します。

## 2 月 補 正 事 業 計 画 書

令和4年度 [ 港 湾 局 ]

事 業 名
13 款 2 項 3 目
港湾整備費負担金

(単位：千円)

区 分	金 額	財 源 内 訳				一 般 財 源 等	
		国	県	負担金	その他	市債	一般財源
現計予算額*	2,571,340					2,571,000	340
執行見込額	3,833,340					3,759,000	74,340
今回補正額	1,262,000					1,188,000	74,000

**【事業概要】**

「国際コンテナ戦略港湾」や完成自動車取扱拠点である横浜港の国際的な競争力の強化に向け、コンテナターミナルや自動車専用船岸壁の改良などを国直轄事業により進めます。その費用の一部を港湾法第52条に基づき港湾管理者である本市が負担します。

**【補正概要】**

国の2次補正により、国の事業計画と本市予算に差額が生じたため、増額補正します。併せて、特定財源の増減に伴う財源更正を実施します。

**【事業費の内訳】**

地区・施設	現計予算額 A	補正額 B	補正後 現計予算額 A+B	説 明
①本牧ふ頭 (D5岸壁、D5荷さばき地)	2,442,340	1,262,000	3,704,340	
②南本牧ふ頭～山下ふ頭 (臨港道路)	84,000		84,000	
③山下ふ頭 (岸壁)	45,000		45,000	
合 計	<b>2,571,340</b>	1,262,000	3,833,340	

**【事業スケジュール】**

地区	施設	R元実績	R2実績	R3実績	R4見込	R5見込	R6見込
本牧ふ頭	D5岸壁等						
南本牧～本牧 ～山下ふ頭	連絡臨港道路						
		調査・測量	調査・測量	調査・測量	調査・測量		
山下ふ頭	岸壁						
					調査・測量		

\*現計予算額は、当初予算額と補正予算額の合計のことを指します。

## 2 月 補 正 事 業 計 画 書

令和4年度 [ 港湾 局]

事 業 名
1 款 4 項 2 目 新本牧ふ頭整備費負担金

(単位：千円)

区 分	金 額	財 源 内 訳				一 般 財 源 等	
		国	県	負担金	繰越金	市債	一般会計繰入金
現計予算額*	6,894,750				750	6,894,000	0
執行見込額	6,579,900				900	6,579,000	0
今回補正額	△ 314,850	0	0	0	150	△ 315,000	0

**【事業概要】**

「国際コンテナ戦略港湾」である横浜港の国際的な競争力の強化に向け、新たな高規格コンテナターミナルの整備を国直轄事業により進めます。その費用の一部を港湾法第52条に基づき港湾管理者である本市が負担します。

**【補正概要】**

4年度市当初予算における国直轄事業の本市負担額に対し、国の予算成立後の事業計画に差額が生じたため、減額補正します。  
また、国の2次補正により、国の事業計画と本市予算に差額が生じたため、増額補正します。

**【事業費の内訳】**

地区・施設	現計予算額 A	減額補正額 B	増額補正額 C	補正後 現計予算額 A+B+C	説 明
岸壁	683,400	▲ 600,000	300,000	383,400	
護岸(防波)	6,211,350	▲ 14,850	0	6,196,500	
合 計	6,894,750	▲ 614,850	300,000	6,579,900	

**【事業スケジュール】**

地区	施設	R元実績	R2実績	R3実績	R4見込	R5見込	R6見込
新 本 牧 ふ 頭	岸 壁						
		岸壁整備	岸壁整備	岸壁整備	岸壁整備	岸壁整備	岸壁整備
	護 岸						
		護岸整備	護岸整備	護岸整備	護岸整備	護岸整備	護岸整備
	荷さばき地						
		荷さばき地整備					

\*現計予算額は、当初予算額と補正予算額の合計のことを指します。